



ごみ分別の成果
ごみ問題は、市民と行政の協働が継続のカギ

市民の理解が大切だと
 思ったのね。

一般廃棄物最終処分場の満杯問題を抱えていた名護市。満杯が予想される年の前年、平成二十二年二月から、県内最多ではないかといわれる十六区分のごみ分別と一部有料化をスタートさせました。この細かいごみ分別は、市民の協力もあり、可燃ごみ全体で前年度の三十%減、家庭系のごみにいたっては四十五%の減少につながり、同処分場の利用年数は大幅に延長できました。

「この成果を持続させ、息の長い取り組みするには、実際に家庭でごみ分別に当たる市民の理解が不



環境フェアでは、普段見ることのできない、ごみ収集車の中の様子も紹介。子どもたちは大興奮



環境フェアで行われた、家庭から出た廃食用油を使つてのアロマキャンドル作り

食器が、小中学校の部活動の食事会や高校の文化祭、飲食店のイベント出店などで利用され、ごみ減量につながったと喜ばれました。また、同施設では、ごみの十六分別の基礎情報や同市のごみ処理状況、地域の環境問題のパネル展示のほか、廃食用油を使ったアロマキャンドル作りのイベントを同市環境フェアで行うなど、施設外での活動にも積極的に参加しています。

名護市

ごみ問題を行政と市民が協働で取り組むための拠点から、たくさんの可能性が羽ばたこうとしています。

可欠。そのためには、タイムリーに情報発信できる場所、行政と市民がつながる場が必要だと考えました」と同市企画部環境対策課の謝花良竹さん。

こうして地域の環境問題を市民と行政がいつしよに考え、行動する拠点として「名護市エコステ3Rなごころ」が平成二十三年七月にオープン。3Rとよばれるリデュース(減らす)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(再資源化)の推進事業と、市民の環境活動推進事業、市民サービス事業という三つの事業を柱に歩み始めました。



左から謝花さん、3R推進業務委託員の宮城繁人さん

利用者目線

午後7時まで、土日祝祭日も開いています

仕事帰りに立ち寄れるって助かる!

「名護市エコステ3Rなごころ」は午後七時まで開いています。「忙しい共働きの方々も気軽に利用できるように思いました。実際、仕事帰りに立ち寄る主婦も多い。土日祝祭日も開いています」と語ってくれたのは、同市から委託を受けて運営管理する名護市環境企業組合の仲宗根あきさん。

施設の利用システムはシンプル。衣類や食器などのリユース品の持ち込みができ、二百円の登録料を支払って会員登録すれば、そのリユース品の譲り受けができます。

オープンから四カ月。現在、会員は三百八十名で、衣類や食器が市民の間で循環しています。たとえば同市の給食センターで使わなくなった

ごみの可能性

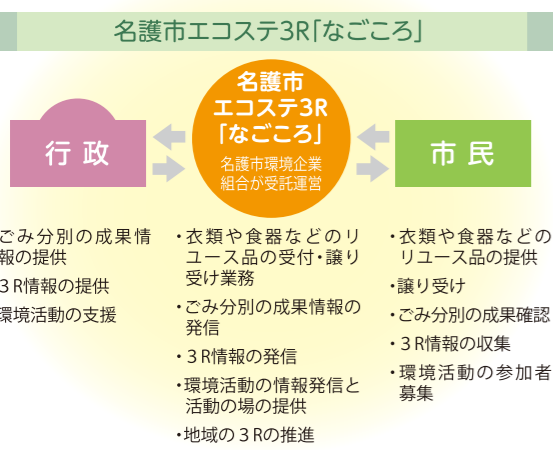
3Rへの取り組みは、さまざまなる可能性に満ちている



3Rは、産業や雇用創出も期待できるのね。

利用者の口コミなどで少しずつ会員が増えてきた「エコステ3Rなごころ」は次に、市民団体「なごころの会」の設立へ向けても動き出しました。同会は、同施設を拠点に、家庭で行える簡単節約生活の実践講習会やフリーマーケット、ボランティア清掃などを企画・実施する会を目指しています。

現在、行政担当者、なごころ運営管理者、市民代表が集まり、来年四月からの本格稼働に向けて準備中。また、整理箱や自転車などの使用可能な粗大ごみの無料回収も目指しています。



なごころへの期待を市民の側から語る、左から池田正秀さん、坂下さん

「ごみにかかると市の財政負担が減れば、その分の予算を教育や福祉にまわせたり、資源の再利用は産業や雇用の創出にも」と、謝花さんの言葉にも力が入ります。3Rの推進を通して市民と行政の心をつなぐ「エコステ3Rなごころ」は、多くの可能性に満ち、地域の期待を集めています。

「ごみ問題の解決は、市民と行政が両輪で進めることが大事なのね！」

編集後記

年末年始は忘年会、新年会と、親戚や友人で集まる機会が増えます。その結果、正月休みに浮き足立っている私は、冬の寒さの中ついつい遅くまで出歩いてしまい、毎年風邪を引いてしまうのが恒例。今年こそは万全の体調で新しい一年を始められるよう、外出はほどほどにしようと思います。(kai)

新年明けましておめでとうございます。今年は沖縄県本土復帰40周年と節目の年にあたります。また、私の干支でもある辰年ということもあり、個人的にも何か良いことが起きる気がしてなりません。県民の皆様や沖縄県にとっても、素晴らしい年になりますように!! 今年も「美ら島沖縄」をよろしくお願いします。(tama)

アンケート

「美ら島沖縄」の感想をお聞かせください。

▶ パソコンはこちら

▶ 携帯電話は、右のQRコードから



エコステ3R「なごころ」は、ひんづんガジュマルのすぐ近く。黄色い看板が目印



エコステ3R「なごころ」施設内。衣類や食器のリユース品や、ごみ関連のパネルを展示、紹介

